

たちがオートバイで暴走行為を行い、一般運転者に恐怖感を与えるなどいろいろな弊害が出てくるようであるが、次の点を伺いたい。①暴走族の実態②取締りと今後の対策③道路の凹凸舗装による予防措置④憩いの道路のイメージ化⑤道路灯の設置

○警察の見解では、大総新道で事故を起しているグループは、スリルを味わうことを目的としているもので、一般の暴走族とは違う。②外勤の警察官が一日に2、3度取締りに当たっている。特に土・日曜日は特別強化区域に指定している。今後も、パトロー



町の大動脈として重要な意義をもつ大総新道

者の安全はもとより、道路のイメージ化にもつながるものなので、設置したいと考えている。農作物等への被害も心配されるので、慎重に対応したい。

**ふるさと創生
事業の見通し**

○ふるさと創生のその後の構想進展はいかに。①続年交付金の動きは②使用用途は

○ふるさと創生事業として好ましいものについては、今後も国からの交付が検討されていると聞いているので多

いに活用したい。②住民の要望調査や検討会など、各方面からの意見を基に集約した結果、希望の一番多かった坂田城跡に町のシンボルに相応しい事業をおこしたい。具体的内容はさらに検討し、決定次第事業化したい。また、ふるさと祭り行事の編纂、栗山の平和公園等も考えている。

**防火水槽
用地と対策**

○防火貯水槽の①借地と用地の購入は②道路利用の地下埋設式の考えは③点検は

○近隣町村に比べ我が町が一番借地料を払っている。自分の地区を守り、自分の家を守るという精神でやっている。他町村は殆ど無償である。

○地下方式は工事費が2倍かかるので、現状では取り上げ難い。③消防団と消防署が春と秋の年2回、火災予防週間にやっているほか、定期的に行っている。

**土地監視区域の
指定と影響**

○国土法監視区域設定後の①地価の動きと②監視区域拡大について伺いたい。

○11月以降栗山を中心として2件取引があり、これで全て推し計るわけにいかないが、非常に値上がりしている。②行政側としては当然庶民が土地を手に入られるようにもっていくべきだという考えだが、県としてはリゾート以外の町村にも監視区域拡大の動きがある。

**各課の
新年度構想**

○町の活性化を図るための各課における新年度の構想は

○総務課 住民福祉のための施策として消防、防災、交通安全、防犯対策の一層の充実を図る。大総新道の照明灯も実施の方向で検討する。

○企画空港対策室 ふるさと創生事業の推進、また航空機落下物対策としては、最危険地帯に対する補償制度の推進、空調機の切り替えに対する受益者負担の軽減を図る。

○産業振興課 町の基幹産業として、将来にわたって安定した農業経営の確立を図る。観光施設あるいは公園が整備されるので、観光協会の設立に努力する。

○大型スーパー進出計画が具体化すると思われるので、関係機関と適正に調整して参りたい。

○町の資源をうまく活用し、房総リゾート地域構想に参画しながら海岸観光の整備を図る。

○住民課 国保会計では、医療費の適正化事業としてレセプト縦覧点検、保健施設事業として短期人間ドックの助成事業、健康家庭の表彰等を実施する。またパソコンによるデータ処理を行い、事務の合理化を図る。

○環境衛生課 合併浄化槽のPRをし、補助金の拡大を図り実施数の増加に努める。

○ゴミ処理対策として、環境衛生振興組合の充実を図り、用地の確保と不燃物等の処理対策を考える。

○今年3月着工する東陽病院の充実を図る。